

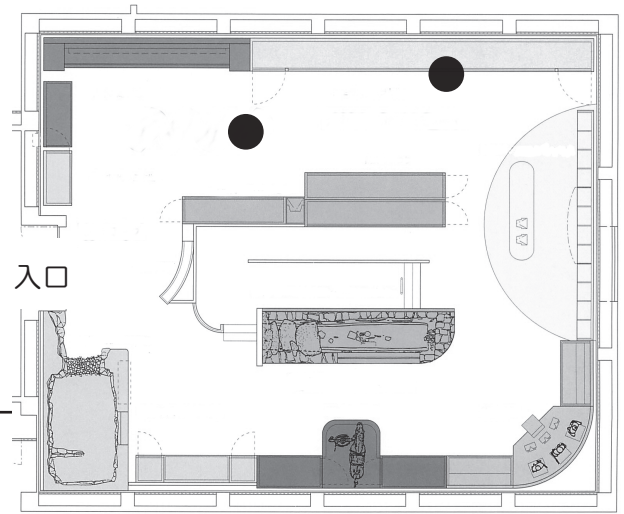
やよいじだい  
 「弥生時代の米づくり」  
 について調べよう

来館日	平成	年	月	日
学校名	学校			
学年・組	年	組	番	
氏名				

1. 田んぼでの米づくり（水田稲作）で使った道具には、どのようなものがありますか？

スケッチしよう！

（ヒント：弥生土器は第1常設展示室の右の図面のところ）



第1常設展示室

弥生時代（やよいじだい）の米づくり

約2400年前、中国大陸や朝鮮半島から福岡県福岡市付近を経由して、博物館のある近江八幡市付近に、田んぼでの「米づくり」（水田稲作）が伝わりました。田んぼで「米づくり」がおこなわれるようになった時代を、「弥生時代」といいます。「弥生時代」は、「米づくり」を中心とした暮らしに、変化しました。

2. スケッチしたものの以外に、水田の米づくりで使用した道具には、どのようなものがありますか？

何でできていますか？

3. 縄文時代とくらべて、弥生時代のくらしはどのように変わったでしょうか？



たつく たお  
田作り・田起こし



せいち たう  
整地・田植え



いね かんり いねか  
稲の管理・稲刈り

4. まとめ

調べたことを発表しよう！ 教えてあげよう！ 質問してみよう！

米づくりが始まる前後のくらしや社会の変化について、縄文や弥生のむらの子どもになったつもりで説明しよう。

縄文時代と弥生時代に行って生活しなければならなかったら、どちらの時代がいいと思いますか？ 考えてみよう！



もくせい のうこうぐ  
木製の農耕具



せきせい ほつみく いしほうちよう  
石製穂積具（石包丁）

疑問は、博物館に行ってみよう！ お手紙・FAXでもOK！